

令和3年7月 文書質問及び回答

- 1 質問者 中田豪之助議員
2 質問事項 ヒグマ対策について

質問の内容・要旨	回答
<p>札幌で住宅地をヒグマが走り回り、福島町ではヒグマに襲われたと思われる遺体が発見された。本町でも目撃、足跡等の情報が多く寄せられています。耕作地にヒトがいる時間が減少、猟友会のハンターは高齢化、ヒグマの天敵はヒグマ、このような状況で、</p> <p>① 本町では北海道の対応方針を元にした「ヒグマ出没時の対応方針」があるが行政側の対応マニュアルであり近年、道内外からの移住者も多く、町民に対してその生態、季節別のエサつまり出没地域等の情報提供が必要では</p> <p>② この5年間、ヒグマによる被害はあるか</p> <p>③ 猟友会の後継者育成は進んでいるか</p> <p>お伺いします。</p>	<p>① ヒグマの出没地域等の情報提供については、ホームページの「クマップ」や行政情報告知端末で発信しております。また、町有林の入林者に対してはヒグマの出没情報の提供やリーフレットの配布を行っております。ヒグマの生態に関わる情報については、広報誌等を活用して発信して参ります。</p> <p>② この5年間のヒグマによる被害は、農業被害で1,359万円となっております。人的被害はございません。</p> <p>③ 猟友会には現在ベテランの会員以外に若手6名が所属しております。町の助成金を活用して必要な資格の取得や研修等に参加しておりますが、仕事等の都合でなかなか猟に参加できないのが課題となっております。</p> <p>④ 緩衝帯については令和3年度から桑の沢川において試験的な整備を行っております。</p>